

平成 27 年度第 8 回石狩市厚田区地域協議会

【日 時】 平成 27 年 11 月 26 日 (木) 18:30 ～ 19:50

【場 所】 望来コミセン みなくる ホール

【出席者】 11 名 (15 人中)

役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠
会長	佐 藤 勝 彦	○	委員	小 山 玲 子	○	委員	中 井 健 太	○
副会長	渡 邊 教 円		委員	今 光 江	○	委員	平 賀 敏 和	○
委員	大 内 さつき	○	委員	坂 本 悌 生		委員	前 田 和 也	○
委員	大 黒 利 勝	○	委員	柴 田 志寿子	○	委員	築 田 敏 彦	○
委員	小笠原 英 史		委員	柴 田 肇		委員	吉 田 美 香	○

※正副会長を除き、あいいうえお順

本 庁 ～ 企画課 上窪主幹

支 所 ～ 西田支所長・熊谷課長

事務局 ～ 高田課長・相原主幹・渡部主査・永澤主任・寺内主任
(地域振興課)

地域おこし協力隊 ～ 小島隊員・沼倉隊員

【傍聴者】 4 名

【次 第】 1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 情報交流 (リラックス タイム)

4. 報告事項

5. 協議事項

・地域振興事業の提案について

①あつた水彩画展芸術文化振興事業 (資料 1)

②地域で取り組む情報発信事業 (資料 2)

・石狩市過疎地域自立促進市町村計画について

6. その他

・厚田区内小中学校の統廃合計画案に関する動向について

・道の駅の動向について

・「あつたかニュース」の発行について

・長期総合計画について

・次回協議会の日程等について

・その他

7. 閉会

1. 開会

【厚）地域振興課 高田課長】

皆さんどうもお疲れ様です。地域協議会を始める前に、本日、渡邊副会長、柴田肇委員、坂本委員、小笠原委員の4名より所用により出席出来ないという連絡を受けております。前田委員におかれましても、若干遅れるという連絡を受けております。それでは時間になりましたので、平成 27 年度第8回厚田区地域協議会を開会致します。

会長ご挨拶の方、よろしくお願い致します。

2. 会長あいさつ

【佐藤会長】

お晩でございます。凄く日が短くなったように感じるんですけど、私の家も店を開いているものですから、夏であつたら夜の7時半にならなければ、日没まで営業なので店を閉める事が出来なかったのですが、今は、夕方4時を過ぎたらもう暗いんですよ。そして、何を言いたいかと言いますと私はマスターなので、マスターとしては働く時間が短いものですから大変良いんですよという事で、働いて大変だなと思いますね。日が短くなってくると同時に、今年はもう、あと残すところわずか一ヶ月なんですよ。年を取ってきたら、1日が長くて1年が短いという感じだと言うんですけども、70歳を過ぎたらそう実感します。今年は、短い1年でございましたという事で、来年はもっと短くなるのではないかなと思うんですけども、その短い1年の間に、この厚田は結構色々な大変な事をやっております。なるべく広くこの地域協議会の情報を皆さんにお知らせしたいと思っておりますけれども、その情報を全てを集めてお伝えする事は現実には出来ないという事で、これはお願いになるんですけども、なるべく皆さん達と色々なアンテナを張りながら、地域でどんな人達がどんな活動をしているかという事をなるべく広く自分のアンテナにキャッチしていただきたいなという事で、お願いという事になります。来年もきっと短い1年になってしまうと思いますが、その間に色々な情報を是非、自分で受け取っていただきたいなという風に思っております。挨拶としては、もう気が早い事で今年は終わるかという事では無くて、それはじっくりまた12月に、後ほどその他で何か企画をしているみたいなので、一年の締めはそちらの方でという事で、今日は日が短くなったという事の話して締めさせていただきます。

3. 情報交流（リラックス タイム）

4. 報告事項

5. 協議事項

・地域振興事業の提案について

①あつた水彩画展芸術文化振興事業（資料1）

【佐藤会長】

協議事項は、地域振興事業の提案という事で2点あります。一つ目は「あつた水彩画展芸術文化振興事業」というのと、二つ目は「地域で取り組む情報発信事業」という事で二つあり、二つとも継続です。

まずは第一点目という事で、A4横の資料1をご覧ください。「平成28年度当初要求事業予算調書」についてという事で水彩画展となりますので、これについては大黒委員の方からよろしくお願い致します。

【厚田アクアレーल実行委員会 大黒実行委員長】

お晩でございます。厚田アクアレーल実行委員会実行委員長の大黒です。どうぞよろしくお願い致します。

私から「あつた水彩画展芸術文化振興事業」について、ご提案させていただきます。

資料1をご覧ください。

この水彩画展は、2年に1回のスパンで実施する水彩画展となりますが、今年度は、募集期間として基金を活用させていただき、ポスター・応募リーフレット等を作成し、市内外に掲示をしていただいているところでございます。また、新たな取り組みとして、新美術新聞に公募規定を掲載し、広く周知しているところです。現在のところ、数件の問い合わせがあつたと聞いておりますが、申込みについては、残念ながら0件でございます。1回目、2回目もそうでしたが、申込期日の1月前ぐらい前からの申込みが増えてくるようで、今回の申込期日は、来年の5月30日までとなっておりますので、安心しているわけではありませんが、たくさんの申

込みがあることを期待しながら、また、「申し込んでくれるだろうか」と不安を持ちつつ、実行委員会で今出来る事に取り組んで行きたいと思っております。

さて、基金提案でございますが、来年度は展覧会の年となります。作品の審査会や表彰式、パーティ、そして展覧会の経費として、記載しております事業費 196 万 4 千円を予定しており、その 2 分の 1 の 98 万 2 千円について、次年度基金を活用させていただきたいと思っております。

予定されていた自治区振興補助対象 6 年間の最終年を迎えることから、展覧会の開催と併せて、今後の事業継続についても協議・検討していきたいと考えております。

将来的に自立し、水彩画展を開催出来る事が理想ですが、作品が多数集まれば良いのですが、2 回の展覧会を通じても、そう簡単に集まるものでも無いと実感しております。何とか実行委員会で、知恵を絞りながら頑張っていきたいと思っております。

全国から集まる素晴らしい作品に触れる機会となりますので、この機会を継続的に出来ればと思っておりますが、まずは、3 回目の水彩画展を大成功のうちに終えられるよう準備を進めたいと思っております。

以上、私からの提案とさせていただきます。ご審議の程よろしく申し上げます。

【佐藤会長】

今の説明で何かありませんか。まずは、質問を受付します。

こういう芸術・文化活動というのは、なかなか自己資金を生み出すのは難しいんですよね。この自己資金というのは具体的になんでしょう。

【厚田アクアレーン実行委員会 大黒実行委員長】

出品料とか入場料等となります。

【佐藤会長】

これも景気の良い時でしたら、企業がそれぞれの“メセナ”と言って、それぞれの文化活動に企業が寄付をするんですが、それは景気が良い時は企業からどんどん文化活動にあった訳ですけども、不景気になると企業もそれはなかなか出せないで、なかなか難しい。今後も継続して続けていく為には、色んな工夫をしながらですけども、やはりそういう役所やそういう何かの基金を使いながら長く継続していくという事がやっぱり重要なという風に思います。これは先ほど、大黒委員からも言われましたように、この作品というのは厚田の宝だと思います。何か質問はありませんか。

質問が無いようですので、まずは継続事業としてこの「あつた水彩画展芸術文化振興事業」について、ご異議が無ければ決定したいと思えます。

【異議なしの声あり】

【佐藤会長】

それでは、全員一致でこの事業をお認めいただいたという事に致します。

・地域振興事業の提案について

②地域で取り組む情報発信事業（資料 2）

【佐藤会長】

第 2 点目の「地域で取り組む情報発信事業」について、これは厚田こだわり隊の河合隊長からご説明いただきたいと思えますので、よろしくお願い致します。

【厚田こだわり隊 河合隊長】

厚田こだわり隊 隊長の河合です。どうぞよろしくお願いいたします。

日頃より皆様には、当隊の活動に対して格別のご理解、ご支援を賜り、この場をお借りしましてお礼申し上げます。

また、皆様ご存知かと思いますが、当隊の副隊長であります吉田一男さんが、ご逝去されました。吉田副隊長は、当隊の要の人材であり、吉田副隊長があつてのこだわり隊と言っても過言ではありませんでした。直売所の野菜の集荷やイベント出店、望来井のタレ作りなど、隊の先頭に立ち、隊員を引っ張っていただきました。

望来井は、吉田副隊長が名付け親でもあります。

当隊として、大切な人を失ってしまいましたが、吉田副隊長の分まで、隊員一同これからも厚田の応援隊として、地域を盛り上げられるよう頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、早速ですが、私から平成28年度に厚田こだわり隊が取り組む地域自治区振興事業について、継続事業であります、提案させていただきます。

資料2をご覧ください。

平成26年度から取り組んでおります継続事業の3年目となりますが、「地域で取り組む情報発信事業」でございます。

この事業は、フェイスブックやブログなど電子媒体を活用して、地元食材、区内のイベント及び地域活動などの情報発信を行う事により、多くの方々に厚田に来ていただき、観光力の強化と地域経済の向上を目的として行う事業であります。

10月末現在の状況ですが、情報発信基地の来客数が329人、電子媒体を活用した情報発信は、約13万8千件が閲覧されており、内訳を見ますと、フェイスブック閲覧数では79,002件、ブログ閲覧数は59,169件となっており、多くの方々に厚田の旬な情報を見ていただいているところです。

今後も継続して厚田の魅力を存分に発信し、1人でも多くの来客者を呼び込むべく重要な手段として継続して取り組んで行きたいという思いと同時に、より効果的な観光情報の発信や提供方法を模索しながら、計画的に基盤整備を行い、将来的には自立と、持続可能な事業展開を図る仕組みをつくり上げていきたいと考えております。

事業費については、情報発信の運営管理、記事作成、投稿などに係わる雇用2名の報酬と、情報発信基地「あった！」の店舗賃借料を計上しており、事業費の総額が84万円の2分の1にあたる42万円について、次年度に基金を活用させていただければと思っております。

ご審議の程よろしくお願いいたします。

【佐藤会長】

ありがとうございます。それでは資料2についてご説明いただきました。厚田こだわり隊は、事業として年々、その成果を上げて来ておりますけれども、その一つにこの情報発信というのがございます。今、説明のありましたように、フェイスブックやブログの閲覧件数というのは相当な件数に上っております。この内の何%か、或いは、何十%かは必ず厚田に来てくれるという事で言ってみれば厚田の入口という事で、これがこの情報発信だという事だと思います。ただ今、厚田こだわり隊隊長よりご説明がありましたけれども、何か質問はございませんか。

今のところ、このこだわり隊の事業も年々、右肩上がりでは効果を出してきているというのは、これは数値から解るんですね。ですから、益々、次年度から本当にこれは、手弁当のボランティアで色んな人にやっていただいておりますので、是非、これもお認めいただければと思うのですが、質問がございませんので、この事業よろしいでしょうか。

【異議なしの声あり】

【佐藤会長】

この資料2の自治区の振興事業について、お認めいただけるという事で、河合隊長ありがとうございました。これでこの事業の提案が終わりました。

(2) 石狩市過疎地域自立促進市町村計画について

【佐藤会長】

それでは、「石狩市過疎地域自立促進市町村計画について」という事で、石狩市役所企画課の上窪主幹の方からご説明いただきたいと思います。

【企画課 上窪主幹】

前回に引き続き、今回もご協議の時間をいただき誠にありがとうございます。前回に引き続きまして「石狩

市過疎地域自立促進市町村計画について」説明をさせていただきます。

まず、前回10月の協議会において、2点委員の皆様からご質問等のあった事について、まずは説明をさせていただきます。

一つは現計画の達成度について、それから二つ目は防災無線についてでございます。こちらの計画の資料は前回お配りさせていただいたもので、お手元でございますでしょうか。こちらにつきまして、法律に基づいて定めるものなのですが、平成22年度から平成27年度という事で、今年度までの現計画についての振り返りでございます。こちらの達成度については、現計画では計画事業が総事業費で約45億円の計画でございまして、そのうち実施済みの費用は約20億円でございます。パーセンテージにしまして約44%となりまして、これについては将来にわたってこの過疎地域の自立促進の為の事業が一定程度実施されたものと考えてございます。

次に二つ目の防災無線についてでございます。厚田区におけるデジタル化につきましては、その整備手法を初めとしまして、まだ検討段階でございます。無線の発信方法など、現時点においてはまだ、お示し出来ない事をご理解いただければと思っております。

次に、今回もまたご協議と言いますか、改定計画についての協議をさせていただきたいと思っております。こちらの計画を定める事で主なメリットとしましては、国庫補助のかさ上げ、また、有利な地方債を借りる事が出来るというのが、主なメリットでございます。また、こちらの計画に書かれております事業が全て実施されるものではございません。逆を言いますと、有利な起債とか財源措置を今後、事業が行なわれる時に財源措置を図る為に、事業を掲載しております。こちらの今の素案については、市役所の各部・各課と調整をしてまとめた案であります。こちらの協議会で、更にご協議いただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

【佐藤会長】

前回、この地域協議会からご質問のありました二つについて説明をしていただきました。まずは、今の質問に対してという事で、地域協議会委員の質問に対してお答えいただいたんですけども、その二点について何かありませんか。

防災無線の件について、厚田区における防災無線の件ですがどんな事。

【企画課 上窪主幹】

アナログをデジタルにという事です。

【佐藤会長】

継続して防災無線が使える可能性が高いという風に解釈してよろしいですか。

【企画課 上窪主幹】

まだ現段階では、ハッキリと申し上げられる事はございません。

【佐藤会長】

この防災無線は、石狩市の中で厚田だけです。

【厚）高田課長】

戸別は厚田だけです。

【佐藤会長】

です。これが結構、デジタルに変えたとしてもお金がかかるんです。ですからそういう事も含めた色々な多岐の検討です。

【企画課 上窪主幹】

はい。

【佐藤会長】

解りました。その答えはまた、検討した結果をご報告いただければという風に思います。

それから、皆さんにお渡ししている計画のレジメがあると思いますけれども、そこからは変わっておりません。その中の事業の提案でございますので、日頃、皆さんの思っている事がございましたら、ご意見や質問何でも何でも良いので、ありましたらお願いします。

【 築田委員 】

一点、42 ページなんですが、高齢者の事業に対する計画の中で、福祉バス運行事業の事についてなんですけど、これについてもう少し、具体的に今、市としてはどの位のものを持っていて、社協の赤い羽根の車などが動いておりますけど、それらを含めて、大体、市としてはどの位のものを持っていて、どういう使われ方がしているのかなというのが一つと、それから車が大き過ぎるので、もう少し、小回りの利く車に出来ないのかなという事で、例えば、医療バスでクリニックに向うバスですが、あれだけ大きいのに何人も乗っていないという現状があるので、もう少し小回りの利くような形で維持をしていったらどうなるのかなと積算をすると、大きいバスを1台で無理やり走らせた方が良いのか、2台や3台位にして人件費は別として、回って歩いた時にどうなのかという事で、その辺の考え方というのがあるのかどうかというのを聞きたいんですけども。

【 企画課 上窪主幹 】

まず、福祉バスについてですけども、石狩市全体という事だと思えますけど、申し訳ありません。今、数字については持ち合わせておりませんので、台数ですとか使われ方について、今日時点でお答えできる状況ではございません。厚田区内の状況については支所で解りますか。

【 厚） 相原主幹 】

厚田区の福祉バスは、1台が動いています。これは基本的に石狩市の中で、本庁サイドでも使うことが出来るような仕組みになっておりまして、基本は厚田を中心に使っていて、空いていれば本庁でも使うことが出来るような状況なのですが、動かせるのは1台です。今回の過疎計画の中に、もし、更新するとしてもその辺の事がこの計画に載っていないと有利な起債とかが使えないという事なので、載せているという事で、実際にバスの更新とかを今後どうするとかいう事については、この件とはちょっと別の次元の話なので、例えば、支所なり、本庁の保健福祉部なりと話しをして、この時期のバスを大きさを含めてどう更新していくかというのは、今後、詰めていかなければならないと思っております。

【 佐藤会長 】

特にこの過疎促進の厚田や浜益のという事で、浜益は来年からコミュニティバスになりますけど、そうしますとこのコミュニティバスの場合には、この福祉バスやスクールバスやそういうバスとの統合を考えていますという事で、石狩市はこの過疎地促進計画の中にそういうコミュニティバスを運行するような計画が当然ありますよね。それは今、築田委員が言ったようにバスの台数だとか、それから今度は、石狩市と厚田区や浜益区とでは過疎地でも状況が違いますよね。そういうところのきめ細かな促進計画というのはあるんでしょうか。

【 企画課 上窪主幹 】

市全体の交通計画については、現時点では無いです。

【 佐藤会長 】

これはこの過疎地計画の中に載せるという事は。

【 企画課 上窪主幹 】

こちらは交通通信体系という事でそちら自動車等で、今回、有償運送事業の整備とあとはこの事業に対する補助の二点についてです。

【 佐藤会長 】

その中に入っているんですか。

【 企画課 上窪主幹 】

浜益・厚田間の来年4月からの運行が予定されているデマンドバスも盛り込んでいます。

【 厚） 地域振興課 相原主幹 】

少し補足させていただきますが、後ほど、その他の中でお話ししようと思っていたのですが、皆様方の手元に「ISHIKARI BOOK」というこちらの本があると思いますが、これの35 ページを開いていただければと思います。この35 ページの中に公共交通という部分がありまして、大枠の中で、こういう事を考えているというような事がこの計画の中に載っております。これは石狩市の最上位計画なので、これを今後、具体化してどうやってやっていくかというのは、まだ、ここには載っていないんですけども、この事も含めて公共交通機関の分を市としては考えていきたいというような計画でありますので、総合計画にも載っておりますの

で、それは今後、実現に向けてという事で、補足をさせていただきました。

【佐藤会長】

ありがとうございました。これは、後ほど報告のところでもう一回、説明をさせていただきますので、その中にも公共交通のあり方が提言をされております。それでは、過疎地促進計画の方に戻りますけれども、他に何かご質問はございませんか。

お手元にあります促進計画をお読みいただいて、次回、また説明がありますよね。

【企画課 上窪主幹】

はい。次回以降も協議させていただきます。

【佐藤会長】

次回の地域協議会の時にまた、ご説明いただきますので、その時までにはちょっとそれを読んでおいていただいて、何かご質問があったり、ご意見がございましたら、その時にまたよろしくお願い致します。

6. その他

- ・厚田区内小中学校の統廃合計画案に関する動向について（厚田支所 市民福祉課 熊谷課長より説明）
- ・道の駅の動向について（厚田支所地域振興課 相原主幹より説明）
- ・「あったかニュース」の発行について（厚田支所地域振興課 相原主幹より説明）
- ・第5期石狩市総合計画について（厚田支所地域振興課 相原主幹より説明）

7. 次回会議等の日程について

平成27年12月17日（木） 17：00 ～ 望来コミセン みなくる ホール

8. 閉会

平成27年12月17日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会
会 長 佐藤 勝彦